

くなる。然し棒は、積木や他の材料と混合してする構成の遊びに有用である。たとへば馬車の軌道を造たり人道を造たり、街燈の杭や垣を造るのに、大きな珠で構成したりする等の如き。又或時はコーヒーの實や他の大きな種を模様のように連ぎ合せる事もする、一構成られたある物の飾の爲めの設計準備として、子供達は人形の家の、壁紙や、敷皮、テープルかけや本や他の興味あるものゝ爲に染料やクレヨンやペンキでするの一番よい模様や列べ方を實驗してみる。

球の形をした珠數、正方形、一インチの直径で一インチ半の圓筒とが材料の中に含まれる。

幼ない子供に特に適する、球を繋ぐ事が初めに實驗されてその子供達の實驗から簡單な排列が生じ、一步一步と教師や子供達の評にあふ毎に種々な組立の型やリズムミク的な排列へと導かれて行く。自然材料―赤いさんざしの實や、薔薇の實、苺類、樫の實等も繋がる。或時は繩や、からの燈心草を短く切たのにつなぐ。

大きなボール紙は實驗的活動を呼び起し、常に或種類の組み合わせへと誘導する。子供達は屢々場面を

一色の釘でうづめ、垣で圍まれた牧場の爲に玩具の動物を要求する。或は子供達は釘を花として竝べて庭を造り或は考を發表する代りに、單に彼等の美の感じを満足させるリズムミクな排列をする事もある。釘は珠と同様、子供の色に就いての喜をみたす材料であつて、種々な排列の機會をあたへる。

「幼稚園訓練」より

「自分の事を自分でする」手はじめ。

自分の帽子、外套を自分で著ること、少なからも一個のボタンは自分ではめて。

大きき充分な時には、自分の上靴を自分ではくこと。

鼻や口に手を持ってゆかぬようにすること。

ハンカチーフをつかふべき時に使ふこと。

ボタンをかけること。

共有物に對する責任の手はじめ。

材料をキチンと片づけること。

自分のテーブルをかたづけ床をこさつぱりときれいにすること。

材料を無駄に使はぬこと。

共有物に對し責任を負ふべき時にはよき手助となること。

國旗を尊敬し、敬禮すること。

「キンダーガーデン、マガジン」より

友人を持つ唯一の道は友人となるにあるのみ。ただ友人の家に入りたりとて更にその人に接近するを得ると云ふにあらず。(エマソン)